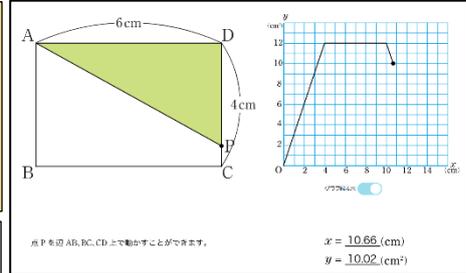


【中学校】第2学年・数学「1次関数の活用」

- ねらい：①変域によって関数の式が異なる場合、変域ごとに場合分けをして、式やグラフに表すことができる。
 ②一次関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。

活用のポイント

- ・課題解決の手段、学習形態を選択することができる。
- ・デジタル教科書のシミュレーションを見ることで、問題で問われていることを視覚的に捉えることができる。
- ・デジタル教科書を家庭学習に生かすことができる。



出典：教育出版 シミュレーション

機能：作図、書き込み、保存、シミュレーション、共有（フォルダやドライブ等）

■学習活動例（太字がデジタル教科書の主な活用場面）

ねらい・期待される効果等

	活動内容	学習者用デジタル教科書の活用例
導入	<p>一斉 課題の確認 解決方法の検討</p> <p>1 前時の学習内容と本時の課題を確認する。 2 課題解決の手順を予想する。</p> <p>課題：点Pの移動によって、面積はどのように変化するだろうか。</p>	<p>・デジタル教科書の問題から、本時の課題を提示し、課題解決の手順を予想する。</p>
	<p>右の図のような長方形ABCDがあり、点PはAを出発して、長方形の辺上を、B、Cを通過してDまで動きます。点PがAからx cm動いたときの△APDの面積をy cm²とすると、△APDの面積はどのように変化するでしょうか。</p>	<p>課題を確認した後、解決するための手順を予想することで、見通しをもって課題解決に向かうことができる。（生徒）</p>
展開	<p>個別 ペア グループ 教師と考える 課題の解決</p> <p>3 問題に取り組む。</p> <p>デジタル教科書やワークシートを使うことで、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し、表現することができる。（生徒）</p>	<p>・学習者用デジタル教科書のノートやグラフ用紙、紙面のワークシートを選択して、課題に取り組む。</p> <p>・学習者用デジタル教科書の機能（シミュレーション、作図等）を選択して活用しながら問題を解く。</p>
	<p>グループ 考えの共有 話し合い</p> <p>4 ノートやグラフ、ワークシート示して、考えを説明する。</p>	<p>・学習者用デジタル教科書のノートやグラフ用紙、紙面のワークシートを示しながら自分の考えを説明する。間違いや新たな考えに気付いたら、加筆、修正する。</p>
まとめ	<p>全体 本時のまとめ</p> <p>5 変域によって関数の式が異なる場合、変域ごとに場合分けをして、式やグラフに表す方法をまとめる。</p>	<p>・発表した生徒の画面、ワークシートを大型提示装置に投影し、修正したり、補足したりしながら、式やグラフに表す方法を確認する。</p> <p>・学習者用デジタル教科書、または、ワークシートの画像を撮影したデータを共有フォルダに提出する。</p>
	<p>個別 振り返り</p> <p>・本時の取組についての振り返りを入力する。</p>	
家庭学習	<p>個別 次時の課題</p> <p>6 問題に取り組む。</p>	<p>・デジタル教科書やワークシートを使って、発展問題に取り組む。（次時の予習）</p>
共有データを参考に、既習事項を確認したり、次の課題（予習）に取り組んだりすることができる。（生徒）		